

コミュニティーと美術シリーズ1

「市民・美術・教育」

ゲスト: **中村 政人** (アーティスト/東京藝術大学絵画科准教授/3331 Arts Chiyoda 統括ディレクター)

進行役: 拜戸雅彦 (愛知県国際芸術祭推進室主任主査)

2011年12月10日(土) 14:00~15:30

愛知芸術文化センター12階 アートスペースA

東京都千代田区の新中学校を改修した公設民営のアートセンター「3331 Arts Chiyoda」の運営や「美術と社会」の新たな関わりをテーマにアートプロジェクトを進めるアーティスト中村政人氏に地震後の活動と、地域コミュニティとアートについてを語っていただきます。

中村 政人 (NAKAMURA Masato)

アーティスト。東京藝術大学絵画科准教授。3331 Arts Chiyoda 統括ディレクター。1963年秋田県大館市生まれ。「美術と社会」「美術と教育」との関わりをテーマに様々なアートプロジェクトを進めるアーティスト。第49回ヴェネチア・ビエンナーレでは日本館の代表作家として参加。1998年よりアーティスト・イン・レジデンス・コマンドNを主宰。2005年に活動拠点として「KANDADA」(神田)を立ち上げ、秋田県大館市で「ゼロダテ」、富山県氷見市での「ヒミング」など地域での市民参加型アートプロジェクトを数多く手がける。2011年6月、東日本大震災復興支援「わわプロジェクト」を立ち上げる。アートプラットフォームの最先端を開拓し、新たなソーシャル・インクルージョンを実践する。平成22年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。



3331 Arts Chiyoda

世界の中の日本シリーズ1

「日本の現代美術が世界で経験していること」

ゲスト: **小山 登美夫** (小山登美夫ギャラリー代表)

進行役: 拜戸雅彦 (愛知県国際芸術祭推進室主任主査)

2012年1月28日(土) 14:00~15:30

愛知芸術文化センター12階 アートスペースA

奈良美智など、海外に日本の現代美術をプロモーションしているギャラリスト小山登美夫氏をゲストに迎え、海外での日本の現代美術はどう語られ、どのように評価されているのか、そしてこれからの日本美術の方向性や課題についてお話を伺います。

小山 登美夫 (KOYAMA Tomio)

小山登美夫ギャラリー代表。明治大学国際日本学部特任准教授。東京藝術大学芸術学科卒業。西村画廊、白石コンテンポラリーアートでの勤務を経て、1996年に小山登美夫ギャラリーを開廊。奈良美智を始めとする同世代の日本アーティストの展覧会を多数開催するとともに、同世代の国外アーティスト、トム・フリードマンやジェラティンなどを日本に紹介する。またオープン当初より、海外のアートフェアにも積極的に参加し、日本アーティストの実力を世界に知らしめるとともに、マーケットの充実と拡大に貢献している。2005年より江東区清澄白河にて営業。2008年には京都市下京区に小山登美夫ギャラリー京都を開廊。
<http://www.tomiokoyamagallery.com/>



(C) Makiko Kudo
Installation view at Tomio Koyama Gallery, 2011
photo: Kei Okano, courtesy of Tomio Koyama Gallery.

世界の国際展シリーズ1

「ヴェネチア・ビエンナーレでの出来事」

ゲスト: **植松 由佳** (国立国際美術館主任研究員)

進行役: 五十嵐太郎 (あいちトリエンナーレ2013芸術監督)

2012年2月25日(土) 14:00~15:30

愛知芸術文化センター12階 アートスペースE・F

2011年、第54回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館のコミッショナーを務めた植松由佳氏に「東芋:てれこスープ」展について語っていただきます。出品作家で、国内外で活躍する東芋についてのお話や、最も歴史のある国際展ヴェネチア・ビエンナーレでの出来事をお伺いします。

植松 由佳 (UEMATSU Yuka)

国立国際美術館主任研究員。香川県生まれ。1993年より丸亀市猪熊弦一郎現代美術館勤務を経て、2008年10月より現職。主な企画担当展に「東芋:断面の世代」(2010、横浜美術館との共同企画)、「ピロロッチ・リスト:ゆうゆう」(2008)、「エイヤローサ・アハティラ展」(2008)、「須田悦弘展」(2006)、「やなぎみわ 少女地獄極楽老女」展(2004)、「草間彌生展 Labyrinth-迷宮の彼方に」(2003)、「ヤン・ファン・デル・グーフェ」展(2001)、「Isamu Noguchi & Issey Miyake ARIZONA」展(1997)など。第13回パングラデシュ・ビエンナーレ日本参加コミッショナー。京都造形芸術大学非常勤講師。第54回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館のコミッショナー。



東芋 / てれこスープ / 2011
第54回ヴェネチア・ビエンナーレ美術展日本館展示風景
(C) Tabei / Courtesy of Gallery Koyanagi and James Cohan Gallery
写真: Ufer!

表現の最先端シリーズ1

「クリエイターもキュレーター」

ゲスト: **澤 隆志** (映像作家/キュレーター)

進行役: 越後谷卓司 (愛知県文化情報センター主任学芸員)

2012年3月3日(土) 16:00~18:00

アートラボあいち1階

イメージフォーラム・シネマテーク、イメージフォーラム・フェスティバルのプログラム・ディレクターを2010年まで務めた澤隆志氏をお招きし、一般に触れることの少ない、最先端の映像表現を作り続けるクリエイターによる、表現について、作品の制作の過程についてなどのお話を伺います。

澤 隆志 (SAWA Takashi)

2000年から2010年までイメージフォーラム・シネマテーク、イメージフォーラム・フェスティバルのプログラム・ディレクターを務める。また、ロッテルダム、ベルリン、バンクーバー、ロカルノ等の国際映画祭や、国内美術館等にプログラム提供多数。主な映像作品に「特派員」、書籍に、「temperature」(共作)などがある。

3月3日(土) 11:00~19:00 映像作品の展示を行います。

会場: アートラボあいち地下1階

入場: 無料

上映プログラム:

新井卓

《夜々の鏡/Mirrors in Our Nights》

ビデオ/約10分/2011

澤隆志

《特派員》16ミリ(ビデオ版)/16分/2000

石田尚志

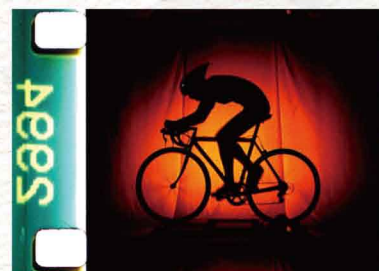
《海の映画》ビデオ/12分/2007

中島崇《訪問者》ビデオ/10分/2010

中島崇《歌声》ビデオ/4分/2011

伊藤高志

《甘い生活》ビデオ/23分/2010



澤隆志(特派員)2000年

アシスタントの募集!

トリエンナーレスクールでは、全ての回に参加でき、スクール当日の準備、記録などを行っていただけるアシスタントを募集します。応募者の中から簡単な書類審査、面接の上、選考させていただきます。募集期間は12月1日(木)まで。定員3名。ご希望の方はgeijutsusai@pref.aichi.lg.jp宛にメールでお問い合わせください。

ACCESS

愛知芸術文化センター

愛知県名古屋市中区東桜1-13-2
地下鉄東山線、名城線「栄」駅下車、東へ徒歩2分
TEL:052-971-6111

アートラボあいち

愛知県名古屋市中区錦2-10-30
地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」駅下車、1番出口より北東へ3分
TEL:052-204-6444

